



2019年7月25日

各 位

埼玉県春日部市赤沼870番地1
会社名 株式会社 篠崎屋
代表者名 代表取締役 樽見 茂
コード番号 2926 東証 第二部
問合せ先 取締役管理グループ長兼経営企画部長
兼IR室長 矢立 実
電 話 048-970-4949

2019年9月期通期業績予想及び配当予想の開示に関するお知らせ

当社は、2019年9月期通期（2018年10月1日～2019年9月30日）の業績及び配当予想が公表できる段階となりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年9月期通期の業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2018年9月期通期実績（A）	百万円 3,878	百万円 △70	百万円 △68	百万円 △99	円 銭 △6.99
発 表 予 想（B）	3,107	42	44	26	1.87
増 減 額（B-A）	△771	112	112	125	8.86
増 減 率（%）	△19.9	—	—	—	—

2. 通期業績予想の開示理由

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による影響が大きく、予測が困難なため通期業績予想の開示は行っておりませんでした。現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしました。

当社の売上高の約89%を占める主要事業である小売事業につきましては、本日開示の第3四半期決算短信にも記載のとおり、のぼり型の「工場直売所」から、のれん型の「豆腐専門店」へと、転換を進めており、「豆腐専門店」として、より専門性が高く利益率の良い高付加価値商品を開発・販売することで利益の改善に努めております。店舗におきましては、既存店舗にて前事業年度より引き続きリニューアル改装を行い、「三代目茂蔵」ブランドの認知度向上を推し進めております。これらの施策により、顧客単価は前年同四半期を上回っており、顧客数は減少傾向となっております。

以上のことから売上高につきましては、直近の実績をベースに前事業年度の季節指数を使用し策定いたしました。この結果、小売事業における売上高は前事業年度比16.2%減となり、全社ベースの売上高は19.9%減となる見込みであります。

利益面につきましては、利益率の良い高付加価値商品のアイテム数増加や既存商品の価格見直しにより売上総利益率は上昇していることを踏まえ、当第3四半期累計期間の実績を前提に費用を見積もり、利益予想を策定いたしました。

3. 2019年9月期通期の配当予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

	第2四半期末	期末	合計
今回予想		0.50円	0.50円
当期実績	0.00円		
(ご参考) (2018年9月期実績)	0.00円	0.00円	0.00円

4. 配当予想の開示理由

当社の利益配分に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題とし、業績及びその時点での経営状況に応じた成果の配分を配当として実施することを旨とするともに、将来の事業展開に備えて財務体質の強化を図ることに努めることとしております。

当事業年度の期末配当金予想につきましては、基本方針及び上記の業績予想を踏まえ、1株当たり0.50円とさせていただきます。

以上